



第128回杜の賑い「北海道・函館2016」/ 八雲山車行列を函館アリーナでPR

9月25日、昨年完成した函館アリーナで第128回杜の賑いが開催されました。このイベントでは、「郷土の祭りや芸能を集めて旅の中で楽しんでもらう」ことを目的として実施されており、八雲山車行列もこのイベントに招待され、勝太鼓、三段山車のほか町民有志約80名が参加し、約2,000名の来場者に演技を披露しました。各団体の踊り手は、2ヶ月前から練習を重ね演技を磨いており、当日は爽やかな汗を流しながら若衆音頭やストリートオブソーランなどの踊りを披露しました。



宮沢賢治生誕120年祭！

イーハトーヴで見つけた 不思議な4つの物語

10月1日、八雲町立図書館において詩人で童話作家でもある宮沢賢治の生誕120年祭が行われました。賢治の実弟の孫にあたる林風舎代表・宮澤和樹氏の講演や、賢治の作品を版画にし絵本を作る版画家・佐藤国男氏とのトークセッションのほか、やくも朗読サークルが代表作品を読み上げる幻灯朗読会が行われました。会場では、和樹氏と佐藤氏が代表作や詩「雨ニモマケズ」に込めた賢治の思いなどの秘話を披露したり、全体で雨ニモマケズを群読をしたほか、佐藤氏の版画を見ながら朗読劇を観賞するなど、来場者は宮沢賢治が創るイーハトーヴの世界に浸りました。



実りの秋を格安で！

第21回熊石産業まつり

旬を迎えたサケなどの海の幸や山の幸、日用品などを安く買い求めることができる、第21回熊石産業まつりが、10月1日、熊石漁港ふれあい広場で開催されました。会場では地元で獲れたサケや農産物、海洋深層水を加工した関連商品などが販売されたほか、大鍋で煮込んだサケ鍋や、チャンチャン焼きが無料で振る舞われました。そのほかビンゴ抽選会や各種ゲームが行われ、水槽内のサケを長さ3メートルほどのたもですくう恒例の「サケすくい大会」では、悪戦苦闘する参加者に周りから大きな声援と拍手が送られていました。



みんなで集まり健康づくり！

たのしくみんなで昼食会

地域の高齢者が一堂に会して楽しく食事をすることによって、食生活の改善と地域との交流を図ろうと、「たのしくみんなで昼食会」が10月1日、熊石平(たいら)生活改善センターで行われました。熊石食生活改善協議会の協力の下、熊石地域で順次行われており、この日は熊石見日から熊石雲石地区までの約30人が参加しました。昼食は同協議会のメンバーが腕を振るい、地元産のお米やサツマイモ等を使ったサツマイモおこわや、ちくわの磯部揚げなど栄養バランスを考慮した5品目が提供され、参加者は地産地消にこだわった食事に舌づつみを打ちながら、「おいしい」「レシピを教えて」など楽しい会話を花を咲かせていました。

